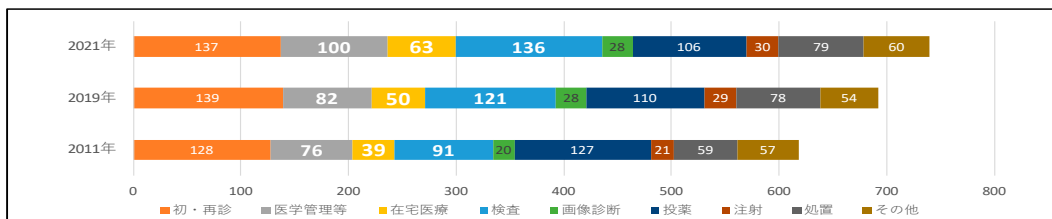


外来の診療報酬点数の増加に医学管理等、検査、在宅医療などが寄与

《背景》2024年度の診療報酬改定に向けた議論が進んでいる。6月21日の中央社会保険医療協議会・総会では、外来医療をとりまく環境や機能分化に向けた外来機能報告制度、かかりつけ医機能制度など、外来医療に関する総論の議論(資料「外来(その1)」)が行われた。今回はその検討資料にある診療所における診療報酬構成の動向などについてご紹介する。

《解説》次回の診療報酬改定に向けた議論のため、近年の外来医療の動向について様々な視点からの資料が公開されています。例えば、75歳以上の患者1人の1ヶ月あたりの受診回数は2010年の2.02回に対し2021年は1.63回と減少傾向にあります。また診療所における外来1日当たりの診療報酬点数は近年増加しており、特に医学管理等、検査、在宅医療の診療報酬が寄与していることがわかります。要因の1つとして新型コロナ関連の検査や臨時特例などの影響が想定されます。また診療科ごとに差異はありますが、内科は特に医学管理等の項目の数字が大きくなっています。例えば、生活習慣病等に関連する特定疾患療養管理料や生活習慣病管理料などを算定することで、外来単価の向上につながる考えられます。

◎図表: 外来1日当たりの診療報酬点数内訳の推移(診療所)



	全体			内科			外科			整形外科		
	2019	2021	寄与率	2019	2021	寄与率	2019	2021	寄与率	2019	2021	寄与率
初・再診	139	137	-4%	140	135	-7%	136	140	11%	111	116	41%
医学管理等	82	100	36%	137	156	28%	97	105	26%	17	17	1%
在宅医療	50	63	28%	105	131	39%	41	50	29%	11	12	10%
検査	121	136	30%	143	168	38%	111	122	37%	28	30	23%
画像診断	28	28	1%	20	20	0%	112	114	7%	62	64	11%
投薬	110	106	-9%	161	152	-13%	121	116	-19%	54	50	-28%
注射	29	30	2%	23	23	0%	44	45	5%	59	57	-21%
処置	78	79	3%	33	40	9%	26	27	3%	28	26	-12%
その他	54	60	13%	25	29	7%	76	76	1%	66	75	74%
合計	691	739	100%	787	854	100%	764	795	100%	435	447	100%

※寄与率=(当該項目の増減/全体の増減)×100%

出典: 中央社会保険医療協議会 総会(第547回) 資料「外来について(その1)」(2023年6月21日)を基に加工・作成
<https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001110849.pdf>

《発行》

アステラス製薬株式会社

東京都中央区日本橋本町2-5-1 〒103-8411

《内容についてのお問い合わせ先》

医療総研株式会社 (担当: Mesa 編集室)

東京都渋谷区渋谷1-7-5 青山セブンハイツ 8F 〒151-0002

Mail: mesa.info@iry-soken.co.jp